

はるかな尾瀬

—目次—

- 02 特集 今年は、尾瀬国立公園の誕生10周年！
- 04 特集 尾瀬自然解説ガイドのごあんない
- 05 ビジターセンターへ、ようこそ！
 - ①山の鼻ビジターセンター
 - ②尾瀬沼ビジターセンター
- 06 現地情報
 - ①原をわたる風だより
 - ②おこじょだより
- 08 TOPICS
- 09 尾瀬ボランティア情報
- 10 尾瀬保護財団からのお知らせ



2017.7 vol.34
(公財)尾瀬保護財団



下ノ大堀川のビュースポット 撮影日：平成29年6月2日

特集

今年は、尾瀬国立公園の誕生10周年！ 改めて尾瀬の魅力を発信します

今年は、尾瀬国立公園が日光国立公園から分離・独立して10周年の節目の年となります。この機会に改めて尾瀬の魅力を外内にPRするため、行政関係者や地元市町村、土地所有者等で構成される「尾瀬国立公園10周年記念事業実行委員会」（以下、実行委員会とします）を組織し、関係者が一体となって尾瀬を盛り上げていきます。

ここでは、これまでの活動紹介とこれから開催するイベント等の情報を先取りでご紹介します。

尾瀬国立公園10周年記念ロゴマーク



▲ 尾瀬国立公園ロゴマーク（右）
新しい10周年記念ロゴマーク（左）

尾瀬国立公園の誕生10周年を記念し、これまでの尾瀬国立公園ロゴマーク（右）を継承しながらも新しい10周年記念ロゴマーク（左）を作成しました。

ミズバショウをモチーフとし、従来の尾瀬国立公園ロゴマークを連想させるデザインに仕上がっています。

2017年の1年間は、この新しいロゴマークを使用し、尾瀬の魅力をPRしていきます。色々などところで目にする機会もあると思いますが、皆様も一緒に尾瀬国立公園の10周年を祝っていただけると幸いです。

尾瀬国立公園PR事業

◎アースデイ東京2017

日時 平成29年4月22日（土）～23日（日）
ブース出展時間 10時～17時
場所 代々木公園イベント広場 ケヤキ並木



▲ ブース出展の様子



▲ クラフトに取り組む親子

今回、CAJ（コンサベーション・アライアンス・ジャパン）の皆様のご協力により、アースデイ東京にブース出展を行いました。

尾瀬や地元市町村のPRのため、群馬県立尾瀬高校の生徒の皆様にもご協力いただき、尾瀬のニホンジカに関する研究発表なども行いました。

歩荷（ポッカ）体験では、20kgほどのサンプルでしたが、車の入れない尾瀬で日々様々なものを運んで下さる歩荷の皆様の苦勞を感じられたのではないかと思います。

◎2017新宿御苑みどりフェスタ

日時 平成29年4月29日（土・祝）
ブース出展時間 10時～16時
場所 新宿御苑

新宿御苑みどりフェスタにもブース出展を行い、尾瀬国立公園のPRを行いました。尾瀬のほか、全国各地の国立公園や環境教育系の団体等が集まりました。



▲ シカ皮を触る子ども達

今回は、檜枝岐村の名産品の販売や「おぜしかプロジェクト」の小山抄子氏にもご協力いただいて、尾瀬周辺で駆除されたニホンジカの皮を使った手作りの小物類も展示・販売させていただきました。

本物の角や毛皮に子ども達だけでなく大人も興味津々でした。こうした活動を通して、尾瀬で大きな課題となっているニホンジカ問題をより多くの方にご理解いただきたいと思っています。

◎山の集い in 東京 2017

日 時 平成29年5月19日(金) ～ 20日(土)

ブース出展時間 19日 13時～19時

20日 10時～17時

場 所 TRC東京流通センター 第1展示場 Aホール



▲ ブース出展の様子

尾瀬の山開きが片品村戸倉で行われる中、あわせてTRC東京流通センターで尾瀬国立公園のPRを行いました。

今回は、数あるアウトドアフィールドの一つとして出展させていただきました。他には、アウトドアメーカー16社や「山小屋相談ブース」として八ヶ岳地域の山小屋、ツアーの案内として旅行会社も出展していました。

尾瀬に行こう！泊まろう！キャンペーン

尾瀬国立公園10周年という節目を記念し、関係者やアウトドア用品販売店の方々にご協力いただきながら「尾瀬に行こう！泊まろう！キャンペーン」を開催しました。10周年を機に、改めて尾瀬をPRするとともに、宿泊型・回遊型

の促進を目的として実施しました。

◎尾瀬に行こう！泊まろう！キャンペーン

対象期間内に東北～名古屋までの対象店舗で1万円以上(税込)ご購入のお客様に、抽選で尾瀬山小屋宿泊券やアウトドア用品などが当たるキャンペーンです。

対象期間 平成29年5月27日(土)～6月30日(金)

応募期間 平成29年7月9日(日) 23時59分まで

当選発表 平成29年7月20日頃

キャンペーンサイト <https://www.oze-fnd.or.jp/campaign/>

応募者数 10,606名

行こう！尾瀬キャンペーン

(株)山と溪谷社が企画・実施する「行こう！尾瀬キャンペーン」に実行委員会として協力しています。キャンペーンの詳細は、「尾瀬ナビ」(<http://www.yamakeri-online.com/yk/oze/cpg.php>)をご確認ください。ここでは簡単に概要をご紹介します。

◎YAMASTA尾瀬散策スタンプラリー

スマートフォンのアプリYAMASTAで、「尾瀬散策スタンプラリー」を実施します。尾瀬の人気スポットをめぐる9カ所のチェックインポイントを設定。このほか至仏山や燧ヶ岳で手に入る登山スタンプと、山麓などで獲得するスペシャルスタンプも設定。

◎行こう！尾瀬ウィーク

実施場所を訪れるとコーヒーマシナがもらえたり(数量限定)、アウトドアメーカーによる登山用具の展示が見られたりと、いつもの尾瀬にプラスで楽しめます。フォトツアーや、コーヒーマシナの淹れ方講座など、参加型プログラムも開催します(場合により変更の可能性あり)。

尾瀬自然解説ガイドのごあんない

尾瀬自然解説ガイドとは？

尾瀬自然解説ガイドは、尾瀬の四季それぞれの美しい姿を尾瀬を訪れる多くの人々にわかりやすく紹介し自然やそれを守る取り組みへの理解を深め、貴重な自然により深く触れていただくお手伝いをします。

尾瀬自然解説ガイドは、尾瀬の自然を守るために尾瀬ボランティアとしても様々な活動をしていて、その知識や経験を活かしながら、山の鼻ビジターセンター発着の4コースおよび尾瀬沼ビジターセンター発着の2コースをご案内いたします。

さあ、あなたも尾瀬自然解説ガイドと一緒に、今までとはひと味違う濃厚な尾瀬を体験してみませんか。

◀尾瀬沼ビジターセンター沼尻コース。10月の紅葉の時期のガイドの様子です。動植物だけでなく、自然保護の取り組みや歴史、文化などについても解説いたします。



▶一番人気の山ノ鼻く竜宮コース。5月下旬、雪が残る至仏山をバックに広大な尾瀬ヶ原でミスバシヨウを観察する様子です。混雑期（ミスバシヨウ・ニッコウキスゲ・草紅葉が見頃を迎える時期）を避け、ゆっくりに尾瀬を楽しむこともオススメです。

ガイド実施日の設定にあたって

ビギナーの皆さま（ガイドを初めて利用する方、尾瀬を初めて訪れる方）にも安全に尾瀬歩きを楽しんでいただくという観点から、実施期間を「5月下旬〜10月の三連休前まで」の間で設定しております。（5月半ばまでは残雪が多く、10月中旬以降は降霜と初雪が心配されるため、入山に際しては特に注意が必要となります。）

また、入山の分散化を図る観点から、混雑期（ミスバシヨウ・ニッコウキスゲ・草紅葉が見頃を迎える時期）の土日祝日は除外させていただいております。

2017

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■：ガイド受付日

コースと料金

コース番号	場所	片道料金	往復料金
		(所要時間)	(所要時間)
山ノ鼻地区（集合場所：山ノ鼻ビジターセンター）			
山1	山ノ鼻～牛首	800円 (1時間30分)	1,200円 (約3時間)
山2	山ノ鼻～牛首～竜宮	1,000円 (約2時間)	設定なし
山3	山ノ鼻～牛首～ヨツピ橋	1,000円 (約2時間)	設定なし
山4	山ノ鼻～牛首～ヨツピ橋 ～竜宮～牛首～山ノ鼻	設定なし	1,500円 (約4時間30分)
尾瀬沼地区（集合場所：尾瀬沼ビジターセンター）			
沼1	大江湿原一周	500円 (約1時間)	設定なし
沼2	尾瀬沼ビジターセンター ～沼尻（北岸コース）	800円 (約1時間30分)	1,200円 (約3時間)

- ▷料金は1人あたりの料金です。旅行傷害保険を含みます。
- ▷ガイド開始時間は原則として7:00～12:00です。
- ▷保護者同伴の小学生以下については無料です。
- ▷各コースとも1グループの定員は2名以上10名以内。10名を超える場合は複数のグループとなります。

申込み方法

◆事前予約制です。所定の申込用紙（※）によりFAX・メール・郵送のいずれかでお申し込みください。

（※）尾瀬保護財団ホームページからダウンロードできます
◆お申し込みはガイド希望日の20日前までにお願います。なお、手配の都合上ガイドをお受けできない場合もあります。予めご了承ください。

申込先・お問い合わせ先

（公財）尾瀬保護財団

TEL: 0277-2200-4431

FAX: 0277-2200-4421

E-mail: guide@oze-fnd.or.jp



尾瀬山の鼻ビジターセンター



尾瀬山の鼻ビジターセンターは、平成5年に群馬県によって設置され、尾瀬ヶ原の入口（西端）に位置しています。ビジターセンターのある山ノ鼻地区からは、花の百名山の一つに数えられる至仏山を間近に望むことができます。

建物正面の扉から入ると、動物たちがお出迎えしてくれます。直接手で触って感触を感じてみてください。

記念撮影もOKです。（写真①）

最新の尾瀬情報を更新しています。立体地図模型をみながら行程を確認してみてください。（写真②）



きます。（写真③）

色々なコンテンツを展示していますので是非立ち寄ってみてください。（写真④）皆さんの尾瀬ライフが広がると思います。



土日祭日の前夜は、レクチャールームにてスライドショーを

実施しています。尾瀬の自然保護やクマの話など、他では聞けないような話をお楽しみいただけると思います。



ビジターセンターへ、ようこそ！

尾瀬沼ビジターセンター

尾瀬沼ビジターセンターは、昭和59年に環境省によって設置され、尾瀬沼東岸の会津沼田街道沿いに位置しています。ビジターセンターのある尾瀬沼地区からは、日本百名山の一つである燧ヶ岳を間近に望むことができます。またカウスターには職員が常駐し、尾瀬の自然についての情報提供を行っています。

この他にも尾瀬沼ビジターセンターでは、利用者の皆様は尾瀬のことをより深く知ることができるよつシーズンを通して様々なイベントや企画展示を実施しています。毎朝9時30分より、手軽に自然と触れ合うことができる「尾瀬を感じるミニツアー」、

土日祝日の前夜には宿泊者を対象とした夜のイベントなども実施しています。また、今年も新しい展示として、尾瀬の福島県側の地元「檜枝岐村」の歴史・文化・尾瀬との繋がりが分かる展示を行っています。地域の人々にとって尾瀬は生活の場でした。そんな檜枝岐村の歴史・文化を知ること、尾瀬への理解をより一層深められると思います。（写真⑤）



その他、2016年シーズンに咲いていた270cmを超える巨大オオバユリが枯れたため、環境省の許可を受けて、実物を展示しています。

また、尾瀬沼地区が始まっている再整備について、全体概要を示した展示も行っています。整備前と整備後でどこがどんな風になるのか分かりますので、ぜひご覧ください。再整備後の尾瀬沼を楽しみにしてぜひ再度足を運んで欲しいと思います。（写真⑥）

さらに、尾瀬にお越しの際の情報収集には、尾瀬保護財団HPや尾瀬沼ビジターセンターのFacebookページをご覧ください。現地より最新情報をお届けしております。皆様とお会いできることを楽しみにお待ちしております。



原をわたる風だより

山の鼻ビジターセンターより

10周年記念

昨年は異例の小雪でしたが、今年と比較的多めの雪の中、山の鼻ビジターセンターは無事、開所式を迎えることができました。

今年、尾瀬が国立公園として分離独立10周年という節目の年になります。

そんな中、VCでは新しい管理員がベテランの管理員と共にお客様を迎える準備を着々と進めている姿を見ると、大変頼もしく感じます。

折角の10周年、尾瀬に来られた方が心から自然を楽しんでいただけたらと思います。

(西澤 政春)

私の尾瀬タイム



午前5時過ぎ、燧ヶ岳右肩からの日の出で一日が始まり、午後6時過ぎ、至仏山右肩に沈む夕陽を目にして一日を終える。日増しに強くなる日差しに勢いを増すミズバシヨウやリュウキンカたち。時には冷たい雨の日も

自然とともに

あるけれど、生き物として極く当たり前の生活がここにはある。

そんな尾瀬タイムを満喫しています。

(入倉 修平)



尾瀬に入ってきた日は、山の鼻ビジターセンターに向かう時あまりの積雪の多さと気温の低さに驚いた事を思い出します。

雪が解け初め、日々尾瀬の状況が変わるので毎日がめまぐるしいです。

尾瀬での仕事と生活は、初めての事が多く戸惑いますが、多くの方々とお会い関わりながら、自然と共に成長していきたいと思えます。ビジターセンターでお待ちします！

(榎原 なつ美)

初めてづくし



今年から管理員として初めての社会人生活を送っています。尾瀬を訪れたのも初めてで、驚きと発見と感動の日々を過ごさせて頂いています。

幼い頃から自然環境や生き物が大好きで、その魅力を多くの人に伝

憧れの山上生活

えていきたいと考えていた僕にとつてはとてもやりがいを感じる。同時に、うまく伝えられるだろうかという不安も感じています。

お客様自身に尾瀬を最大限楽しんで貰えるようなきつかけづくりに努めていきたいです。

(山田 駿)



まだ入山して2週間弱ですが、たくさんの生命の気配が身近に感じられ、夢の中にいるようです。

この貴重な時間を大切に過ごしたいと思っています。

(神田 律子)

困知勉行

昨年は雪があまり無く、ミズバシヨウが早くから顔を見せていました。

今年の尾瀬は、雪が残っている状態でのスタート！例年に比べて、雪が多いのでこれから少しずつ可憐な姿をみせてくれるでしょう。

日々移り変わっていく自然を楽しむのもいいですが、尾瀬に関わる人達にも目を向けてみてください。山小屋・歩荷・ビジターセンター・ボランティア・尾瀬ガイドと様々な方が尾瀬に関係し、毎年違つメンバーで尾瀬を護り、伝え、支えています。これからも毎年違つ尾瀬を楽しみ、皆様に尾瀬を伝え

られる様に日々精進していきます。何かお困りの際は、ビジターセンターに是非お越しください。

(森山 暢希)

3年目にあたり

一昨年、山の鼻ビジターセンターの管理員として来てから、早いもので3シーズン目になります。

今までの経験を活かしつつ、新たなことを学び精進していきたいと思えます。

また、それぞれの年でそれぞれの発見や体験をしましたので、今年もどのような新しいモノに出会えるか楽しみにしています。

最後になりますが、今年もよろしくお祈りします。

(菅原 與晴)



ビジターセンター職員集合写真
(尾瀬沼ビジターセンターと合同で撮影)

おいじょだより

尾瀬沿ビジターセンターより

それぞれの思い

今年も尾瀬のシーズンが始まりました。今年の尾瀬は雪解けが遅く、6月に入ってからビジター周辺に雪が多く残っていることに驚きました。お客様に「どちらから来られましたか」と聞くと、九州だったり、北海道だったりとかかなり遠くから来ている方が多いことに驚きます。

改めて尾瀬の人気を知り、この方々に「尾瀬に来てよかった」と思ってもらえるような尾瀬であり、ビジターでありたいと思っています。

どうぞ、よろしく願います。
(阪路 善彦)

先日ビジターセンターの前で70代の男性3人組と立ち話になりました。友人同士で愛知県からいらしたとのこと。「前は毎年来てたんだけど久しぶりに来たよ。尾瀬はやっぱいいね。今回が最後になるかなと思ってるんだ。」とのことで、「寂しいこと言わないでくださいよ。またお待ちしていますね。」と話をしました。ふとその方の帽子に目をやると、見覚えのあるピンバッジが！友の会の会員の方だったのです。遠くてなかなか来られないけど、何年も続けていると話してくれました。尾瀬から離れたところにいる方も同じ思いで繋がっているのだと温かい気持ちになりました。ビ

ジターセンターには毎日色々な方が訪れます。残りの4ヶ月どんな出会いが待っているのかとても楽しみです。
(佐々木 彩乃)

尾瀬に足を運ぶたび、いつのまにか「たたいま」が口癖になってしまいました。



番の楽しみです。

尾瀬の自然保護に少しでも多く貢献できるように、努力してゆきたいと思えます。

どうぞ、今年度もよろしく願います。
(川上 藍)

尾瀬でのお仕事は2年目となります。



昨年の春とは全く違う今年の残雪に驚きつつ、今しか見ることのできない風景に感動し、また、昨年お話しさせていたいただいたお客様との再会もあり、ここで働くこ

とができる幸せを感じながら生活しています。今シーズンも尾瀬を訪れる方々に、尾瀬にまた来たいと感じていただけるようなお仕事をしたいと思っています。よろしく願います。
(江崎 花絵)

滋賀県から来ました西川眞治です。バイクツーリング、山歩き、スキー：自然の中で過ごすことが大好きです。今はカヌーにはまっています。琵琶湖の波に揺られてのんびり過ごすのがいちばんの楽しみでした。

尾瀬は初めてです。これまで聞いてきたとおりの素晴らしい景色に毎日感動しています。若い職員が多い中、いちばん年上です。めがねに白髪のおじさんを見つけたら、是非声をかけてください。
(西川 眞治)

今年初めて尾瀬沿ビジターセンターで勤務させていただきます。宮坂隆朋です。自然が奏でる美しい音楽に身を委ねているうちに尾瀬沿ビジターセンターにたどり着きました。



特別な場所でも多くの方に景観の美しさだけでなく、響きの美しさも伝えていけたらと思っています。そして自然音を通じて人の心を癒したり、将来世代に豊かな世に貢献する社会貢献活動をしていければと考えています。何

はともあれ皆様が尾瀬を満喫できるように頑張りますのでよろしく願います。
(宮坂 隆朋)

今年初めて尾瀬沿ビジターセンターで勤務させていただきます。佐野愛海です。尾瀬は以前からプライベートで何度か訪れましたが、職員として勤務するとまた違った角度の尾瀬を知ることが出来、新鮮な毎日を経験しています。



最近では雪解けと共にビジターセンターに訪れる方が増え、楽しくお話をさせていただきます。至らない点が多々あるかと思いますが皆様に尾瀬の魅力をお伝えできるよう努めますので、来館の際は是非お声掛け下さい。
(佐野 愛海)

今年初めて尾瀬沿ビジターセンターに勤務することになりました。上村麻実です。今年3月に環境の専門学校を卒業し、尾瀬で初めて働かせていただきます。

尾瀬に来てから少し経ちますが、日々変化する風景、普段は見ることのできない動植物、お客様の笑顔を見ることが尾瀬で過ごすこれからの日々がより楽しみになりました。至らない点が多くあるかと思いますが、皆様のお役に立てるよう日々努力していきたいと思えます。よろしく願います。
(上村 麻実)

○尾瀬保護財団 平成29年度事業計画

尾瀬保護財団の平成29年度事業計画が、本年3月14日に開催された第15回理事会で決定されました。主な事業計画は次のとおりです。

1 利用者啓発事業

(1) 入山者啓発事業

- ① 入山口啓発：入山マナーの啓発、利用案内、ごみの持ち帰り運動等を実施する。
- ② 尾瀬ボランティアの活動支援
ア ボランティア活動の調整や研修会等を開催する。
イ 新たな活動を追加し活動の幅を広げること
で、ボランティア活動の活性化を図る。
- ③ ガイド利用の普及・促進
ア ガイド利用を通じて、尾瀬の自然環境の保全と適正利用を図るため、尾瀬ガイド協会の運営を受託し、連携・支援する。
イ ガイド利用の魅力、有用性等を利用者に啓発し、普及を図るため、尾瀬自然解説ガイド（尾瀬ボランティアを母体とする）によるガイド活動を実施する。

(2) 自然解説事業

- ① 自然解説事業：自然解説活動を通じて、尾瀬の貴重な自然についての認識を深め、適正利用を促進する。
- ② 環境学習推進事業：「環境学習の場」としての利用促進を図るため、現地情報や学校の利用状況について情報発信を行う。

(3) 研修事業

- ① 指導者の養成：職員の資質向上を図り、指導者として養成するため、各種研修会に派遣する。
- ② 職員研修の実施：新規職員を対象に、財団職員としての心構え、業務内容及び国立公園制度等の研修を実施する。
- ③ 救急救命研修：現地に勤務する職員に応急手当AED操作訓練等の救急救命研修を実施する。

(4) 普及啓発事業

- ① 機関誌の発行
- ② 「わたしの尾瀬」フォトコンテスト、写真展等の開催
- ③ 啓発リーフレット等の作成・配布：外国語版「尾瀬国立公園案内マップ」の改訂増刷を行う。
- ④ ホームページの管理運営：尾瀬の保護と適正利用を推進するとともに、財団の活動を周知するため、尾瀬に関する最新の情報を発信する。
- ⑤ 尾瀬に関する情報交換会・ガイドランスの実施：地元との協力の元、旅行者・スポーツ用品店等を対象とした情報交換会を東京等で実施する。
- ⑥ 出張講演
- ⑦ 外国人入山者啓発：来訪する外国人入山者の現状の把握と、マナー啓発を行う。
- ⑧ 尾瀬国立公園10周年記念事業：尾瀬国立公園10周年を記念し、関係者と協力して記念事業や記念式典を行う。

2 環境保全事業

- (1) 植生復元事業：至仏山東面登山道の植生復元及び保全事業を実施する。
- (2) 至仏山保全対策：至仏山保全対策会議を活用し、至仏山保全基本計画に基づいて各種対策を検討し実施する。
- (3) 尾瀬シカ対策：関係県と連携してシカ対策に取り組む。
- (4) 外来植物対策事業：外来植物の分布状況を把握し、必要に応じて除去活動を行う。

3 施設管理事業

- (1) ビジターセンターの管理運営
- (2) 公衆トイレの維持管理

4 調査研究事業

- (1) 尾瀬総合学術調査推進事業：第4次尾瀬総合学術調査を事務局として支援し、尾瀬の保全管理に不可欠な科学的情報を整備する。
- (2) 適正利用推進事業：「尾瀬ビジョン」の実現に向けて主体的に取り組む。ツキノワグマ対策については、「尾瀬国立公園ツキノワグマ対策協議会」の運営を行うとともに、出没した際の対策について関係者とともに取り組む。

5 顕彰事業

尾瀬賞運営委員会における、尾瀬賞のあり方に関する検討結果を踏まえ、今後3年間尾瀬賞の募集を休止し、尾瀬賞・尾瀬奨励賞の見直しを行う。

6 友の会等事業

- (1) 友の会事業：特典の拡充や特別賛助会員のPRを図り、会員増加に努める。
- (2) 寄付金の募集：公益財団法人への寄付税制の優遇措置制度を活用し、企業・団体等に対し積極的に寄付を募る。入山口横断幕の更新年あたり、広く支援を求める。

7 その他

- (1) 尾瀬サミット2017の開催
開催日：8月30日（水）～31日（木）（予定）
開催場所：群馬県片品村
- (2) 拡張地域における活動拠点の整備：昨年度に引き続き檜枝岐村内に臨時の事務所を設置する。
- (3) 評議員会及び理事会の開催
- (4) 受託事業・助成金の活用

○第4次尾瀬総合学術調査が始まりました

平成29年度～31年度の3年にかけて行われる「第4次尾瀬総合学術調査」が始まり、6月5日に鳩待峠でキックオフイベントが行われました。

学術調査では、「基礎研究」と「重点研究」に分けて調査が行われます。「基礎研究」では、①尾瀬ヶ原とその周辺に生息する動植物の大規模な力タログ的調査②二ホンゾリ侵入による尾瀬ヶ原への影響調査③長期広域モニタリングシステムの構築などが行われます。「重点研究」では、気候と地表・地中での水の動きの関係や生態系の変化といった、温暖化が尾瀬の動植物に与える影響などについて調べます。



▲キックオフイベントの様子

尾瀬保護財団は、この第4次尾瀬総合学術調査の事務局を担っており、調査が円滑に行えるよう支援を行って行きます。また、尾瀬にお越しの際に調査団を見かけたら、ぜひ皆様からの応援をお願いいたします。

○尾瀬の入口(大清水)で「低公害車両の営業運行」を実施中(群馬県からのお知らせ)

特定の入口への利用集中の緩和や、国立公園の回遊型・滞在型利用を促進するため、大清水口において、大清水～一ノ瀬間に公共交通として低公害車の導入が検討され、数年にわたる関係者の協議や社会実験、試験運行を経て、平成28年度に引き続き、民間事業者による営業運行が実施されています。

一 期間

平成29年6月24日(土)～10月15日(日)(予定)
※路面整備や安全確保の状況により変更になる場合があります。

二 場所

大清水口

三 内容

① 区間：大清水～一ノ瀬(約3km)
② 時間：大清水5時(始発)～一ノ瀬16時30分(終発)
※注意：8月14日(月)～9月8日(金)の間の平日は大清水7時30分(始発)～一ノ瀬15時30分(終発)(事業者にご確認ください)。

③ 車両：低公害車両4台(13人乗り、9人乗り、4人乗り)
④ 所要時間：片道約15分程度

⑤ 運賃：大人700円、こども350円

⑥ 頻度：定時運行

⑦ 運行事業者：関越交通(株)、尾瀬観光タクシー(有)、(株)老神観光バス、片品観光タクシー(有)
※歩行者優先で、速度を抑えて運行しています。
※混雑状況により、ご乗車できない場合もあります。
※低公害車両の運行に併せて、群馬県が旧道(会津沼田街道)を整備し開放しています。

【運行に関する問い合わせ先】

●関越交通(株) 沼田営業所 TEL:0278-23-1111

●尾瀬観光タクシー(有) TEL:0278-58-3152
●(株)老神観光バス TEL:0278-56-3222
●片品観光タクシー(有) TEL:0278-58-2041

尾瀬ボランティア情報

このコーナーでは尾瀬ボランティアの活動の様子を紹介いたします。

●ごみ持ち帰り運動キャンペーンを実施しました

現在、尾瀬では年間を通じてごみ持ち帰り運動を実施しており、6月3日(土)には鳩待峠・大清水・沼山峠においてごみ持ち帰りキャンペーンを実施しました。

今年はいよいよの天気でしたが、群馬県・福島県主催のもと、尾瀬ボランティアや企業・団体のみならず、ご協力により、入山者に対してごみ袋を配布し、ごみ持ち帰りの実践を呼びかけました。

●外来植物の駆除を行いました

6月2日と9日の2日間に渡って、外来植物「ハルザキヤマガラシ」の駆除を行いました。ハルザキヤマガラシは、生態系被害防止外来種(環境省・農林水産省)や日本の侵略的外来種ワースト100(日本生態学会)



▲駆除作業の様子



▲活動の様子

に指定されている外来植物です。現在のところ、尾瀬内では確認されておりませんが、尾瀬に至る車道沿いにおいては生育が確認されています。そのため、これからの侵入を未然に防ぐため、地元関係者や企業、尾瀬ボランティアの皆様との御協力を得ながら駆除作業を行いました。生命力の強い植物なのでまだ油断はできませんが、これからも活動は続けていきたいと思っておりますので、皆様の御協力の程、よろしくお願いいたします。

●至仏山東面登山道の柵立てを行いました

6月18日(日)、登山者による登山道以外への踏み込みを防ぐため、至仏山東面登山道の山ノ鼻登山口から高天ヶ原上部までの登山道に、踏み出し防止柵の設置を行いました。この作業は、群馬県から財団への委託として、毎年至仏山の山開き前に実施しているものです。

今回は、尾瀬ボランティア12名の方々に御協力いただきました。天気は、朝から曇ってはいましたが、最後まで雨に降られたこともなく、無事に作業を終えることができました。

10月には、今回設置した踏み出し防止柵を倒す活動を行いますので、また皆様の御協力をお願いできればと思います。



▲柵立て作業の様子

●沼山峠ボランティア詰所を設置しました

6月19日(月)、沼山峠の道路敷にボランティア詰所を設置しました。皆さまの活動の拠点として、ご利用ください。お話ボランティア活動の備品も、詰所内に用意しています。



寄付のお願い

尾瀬保護財団では広く寄付をお願いしております。

当財団は、尾瀬国立公園において、利用者に対し自然への理解を深めるための解説活動や、適正な利用に関する普及啓発を実施するとともに、各種の環境保全対策や施設の管理運営等を行ない、尾瀬の優れた自然環境の保全に寄与する活動を続けております。



◆個人住民税の寄付金控除の対象に尾瀬保護財団が指定されました。

個人住民税の寄付金税制の拡充により、各都道府県・市区町村が条例で指定した法人に対する寄付が、住民税の控除対象となるようになりました。尾瀬保護財団は下記の県・市・町から指定を受けています。(財団への寄付を行った翌年1月1日にこれらの県・市・町にお住まいの個人が対象となります。)

福島県、群馬県にお住まいの寄付者：個人県民税

福島県富岡町、群馬県前橋市、群馬県高崎市、群馬県桐生市にお住まいの方：個人県民税と個人市民税・町民税

◆また、尾瀬保護財団は「公益財団法人」に認定されており、当財団への寄付は所得税・法人税の優遇措置を受けることができます。

※なお、所得税、住民税控除の対象となる方には、領収書の送付時にご案内資料等をお送りします。

◆企業・団体の皆様とより良いパートナーシップを築けるよう、特別協賛寄付、協賛寄付の制度があります。詳細は財団事務局（群馬県庁15階・027-220-4431）にお問い合わせください。

■寄付につきましては、財団事務局（群馬県庁15階・027-220-4431）にご来訪いただくか、財団にご連絡の上、下記口座にお振込をお願いいたします。

福島県	東邦銀行県庁支店	普通	1078095
	福島銀行本店営業部	普通	0590088
	大東銀行福島支店	普通	1287138
群馬県	群馬銀行県庁支店	普通	0515428
	東和銀行本店営業部	普通	0975531

新潟県	第四銀行県庁支店	普通	1182791
	北越銀行県庁支店	普通	0199366
	大光銀行新潟支店	普通	0837334

特別協賛寄付者のご紹介

※7月5日現在の寄付日順、敬称略



水上高原ホテル200（水上高原リゾート株式会社） 水上より坤六峠を越えて尾瀬に入るツアーを同社が経営されているホテル（水上高原ホテル200）で実施されており、その収益の一部として30万円のご寄付をいただきました。また、ホテル内で募金を実施していただき、その募金額をご寄付いただきました。同社からのメッセージ：環境保全と共に尾瀬の雄大な自然と楽しさ・魅力を伝えて参ります。

SAVE ON

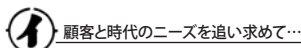
株式会社セーブオン 群馬、新潟、福島県内のセーブオン全店舗において、尾瀬環境保全募金を実施していただき、その募金額をご寄付いただきました。(通算寄付総額 7,808,403円)

寄付者からのメッセージ：(株)セーブオンでは、「尾瀬国立公園」が位置する群馬県・新潟県・福島県の店頭にて募金を実施し、多くのお客様に寄付をお寄せいただきました。ご協力頂いたすべてのお客様に深く感謝いたします。今後も、尾瀬の貴重な自然環境を後世まで末永く守り続けるための活動を応援してまいります。



アサヒビール(株)群馬支社 これまで継続してご支援をいただいていた「うまい！を明日へ！」プロジェクトによるご寄付は平成26年度で終了となりましたが、今後も当財団への支援を続けていきたいというアサヒビール群馬支社様のご厚意により、平成27年度は100万円のご寄付をいただきました。(通算寄付総額 28,957,751円)

寄付者からのメッセージ：アサヒビール(株)群馬支社では、地域との共生や地域貢献を目標に掲げ、2009年春から、全国活動の一環として群馬県内での売上の一部を尾瀬保護財団へ寄付させていただいてまいりました。今後は群馬支社独自の取り組みとしての寄付継続を含め、県民の皆様とともに環境保全を進めていきたいと考えています。群馬県の子供たちの未来のために、お役立ていただけたら幸いです。



糸井商事(株)

糸井商事株式会社 当財団の設立の趣旨と活動内容に賛同いただき、100万円のご寄付をいただきました。今後もご支援をいただく予定です。(通算寄付総額 1,000,000円)

寄付者からのメッセージ：糸井商事は昭和21年創業、今年で70周年を迎えました。「顧客と時代のニーズを追い求め続けます。」と「会社の繁栄、社員の幸福、地域社会への貢献を三位一体で推し進めます。」を経営理念に掲げ、地域にとって存在価値のあり続ける企業を目指しています。社長が球団代表を兼ねている群馬ダイヤモンドペガサスの活動と合わせながら、尾瀬の自然環境保護の応援をさせていただきます。



株式会社エコ計画 環境・食・貢献をテーマに事業を展開している企業として、「豊かで美しい尾瀬の自然を後世にまで伝える」という当財団の趣旨に賛同いただき、社会貢献事業の一環として100万円のご寄付をいただきました。(通算寄付総額 1,000,000円)

寄付者からのメッセージ：エコ計画は、1970年創業の総合リサイクル企業で「環境・食・貢献」をテーマに事業を展開。群馬県では、1981年に事業を開始し、古民家を移築した自家源泉を備える2つの直営旅館に加え、高崎市倉瀬町には、フォレストストック認定取得の社有林(約1,000ha)を保有、森林整備を通じ、自然環境保護に取り組んでいます。

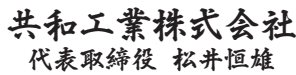
尾瀬は、日本の自然保護の原点でもあり、貴財団の趣旨に賛同、寄付をさせていただきました。

今後も地域社会との共生、発展に貢献して参ります。



株式会社福島銀行 平成24年11月に発売された「ふくぎんエコ定期『みんなの尾瀬』」の平成29年3月末現在残高の0.01%に相当する、1,018万円余のご寄付をいただきました。(通算寄付総額 47,447,843円) また、昨年度に引き続き街頭募金活動を実施いただき、10万円をご寄付いただきました。(募金総額 339,986円)

寄付者からのメッセージ：福島銀行は、中期経営計画「ふくぎん本気(マジ)宣言」の基本方針の中で、社会貢献の取組強化を掲げております。「ふくぎんエコ定期『みんなの尾瀬』」では、お預け入れ頂いた同預金の年度末残高の0.01%相当額を尾瀬保護財団へ寄付させて頂いており、趣旨にご賛同頂いた多数のお客様より永年ご支持を頂いております。かけがえのない尾瀬の自然を守るため、福島銀行はお客様と共に、これからも積極的に保護活動に取り組んで参ります。



共和工業株式会社(三条市上須頃) 当財団の設立の趣旨と活動内容に賛同していただき、尾瀬の保全に役立てて欲しいと、ご寄付をいただきました。同社からのご寄付は、今回で8回目となります。

(通算寄付総額 1,400,000円)

寄付者からのメッセージ：共和は太陽光発電事業など自然保護を支援してまいります。

明日をもっとおいしく



株式会社 明治 (株明治様の群馬工場で使用される水の水源でもある、尾瀬の自然環境を後世まで守り、次代に繋げていくことで、社会そして子どもたちの未来に役立てていただきたいとの想いで、35万円のご寄付をいただきました。(通算寄付総額 1,250,000円)

寄付者からのメッセージ：(株明治は、自らの事業が豊かな自然の恵みの上に成り立っていることを認識し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。その一環として、尾瀬の貴重な自然環境が守られるための保全活動の一助になる事を期待し、寄付させていただきました。今回の寄付金が有効に活用され、尾瀬の美しい自然環境が未来へ引き継がれていく事を願い、支援を継続してまいります。

尾瀬紀行

尾瀬紀行(信託ファンド)で収受した信託報酬の一部として総額453万円余りをご寄付いただきました。平成19年より今回が10回目のご寄付となります。(通算寄付総額 60,376,853円)



アセットマネジメント One

アセットマネジメント One 株式会社 今年度は179万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 31,984,255円)

寄付者からのメッセージ：尾瀬の美しく貴重な自然を後世に受け継ぐために今回の寄付金が有効に活用され、環境保全の一助となることを期待しております。DIAMはこれからも金融の仕組みを通じて、社会に貢献する資産運用会社を目指します。



群馬銀行

株式会社群馬銀行 今年度は107万円余りをご寄付いただきました。(財団設立当初からの寄付を含め、通算寄付総額 31,033,780円)

寄付者からのメッセージ：信託報酬の一部が尾瀬保護財団への寄付となる仕組みの投資信託を取扱っており、多くのお客さまの善意の集大成を寄付させて頂きました。趣旨にご賛同頂き投資信託をご購入頂いた全てのお客さまに深く感謝いたします。



すべてを地域のために
東邦銀行

株式会社東邦銀行 今年度は72万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 11,276,624円)

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けることを目的として、当ファンドの販売・運用を通じて地域社会の発展に貢献するとともに、広く尾瀬の自然を愛する皆様と共に力を尽くしていく所存であります。今後とも積極的にCSR(企業の社会的責任)を重視して取組んで参ります。



第四証券
Daishi Securities

第四証券株式会社 今年度は5万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 1,726,384円)

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けるために今回の寄付金が有効に活用されることを期待しております。第四証券は第四銀行グループとして、これからも尾瀬の自然環境保護を支援すると共に、地域社会の発展に貢献してまいります。



第四銀行

株式会社第四銀行 今年度は30万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 6,199,866円)

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けるため、今回の寄付金が有効に活用されることを期待しております。第四銀行はこれからも尾瀬の自然環境保護を支援すると共に、地域社会の発展に貢献してまいります。

協賛寄付者のご紹介

※7月5日現在の寄付日順、敬称略

株式会社とりせん

当財団の自然保護活動に活用してもらいたいとの趣旨で、10万円のご寄付をいただきました。株式会社とりせん様からは、平成21年に株式会社とりせん創立60周年を記念して、環境保全に寄与するという目的で社員の皆様が募金活動を実施し、その収益をご寄付いただいております。同社からのご寄付は通算で5回目となりました。今後ともご支援をいただく予定です。(通算寄付総額 1,458,391円)

糸井商事株式会社

当財団の設立の趣旨と活動内容に賛同いただき、10万円のご寄付をいただきました。今後ともご支援をいただく予定です。(通算寄付総額 100,000円)

株式会社二チネン

株式会社二チネン様が片品村の尾瀬工場(平成19年4月に設立)で生産し、販売するミネラルウォーター「尾瀬の湧き水」の収益の一部を、尾瀬の自然環境保全のために役立てて欲しいと、ご寄付をいただきました。平成19年度から毎年ご寄付をいただき、今回で10回目となります。(通算寄付総額 1,000,000円)

株式会社読売旅行

当財団の設立の趣旨と活動内容に賛同していただき、10万円のご寄付をいただきました。今回が3年にわたるご支援の3年目となります。平成29年度からの3年間についても引き続きご支援をいただく予定です。(通算寄付総額 300,000円)

尾瀬の三二観察 ③〇

アオヤギソウ

7月～8月に長い穂を立てて、多数の花をつける。花は淡緑色で直径15mm前後と目立たないが、花びらの基部に光っている蜜が魅力的なので、ハエやアブの仲間が舐めにくる。

6本の雄しべは放射状に伸び、先端の鮮黄色の葯は下向きに裂けて花粉を出している。そこはちょうど、蜜を舐めにくる虫たちの背に花粉がつく絶好の位置である。アオヤギソウの花は小さいが、巧妙な受粉の仕掛けをそなえているのだ。

(フラワーエコロジスト 田中 肇)



イベント情報 ◆◆◆

第21回NHK「わたしの尾瀬」写真展

●中之口展

【開催期間】

平成29年9月13日(水)～26日(火)
午前9時～午後4時30分

※9月19日(火)、9月25日(月) 休館日

【会場】

新潟市中之口先人館ギャラリー
(新潟県新潟市西蒲区中之口363)
(TEL: 025-375-1112)

●福島展

【開催期間】

平成29年10月12日(木)～10月30日(月)
午前9時～午後9時

【会場】

福島市アクティブシニアセンター アオウゼ
(福島県福島市曾根田町1-18 MAXふくしま4階)
(TEL: 024-533-2344)

※予定は変更になる場合があります

『友の会』コーナー

「友の会」は豊かな尾瀬の自然を守る財団の活動を支援して下さる方々の集まりです。

※加入・更新時期は年4回(5月・8月・11月・2月)です

11月1日からの加入・更新をご希望の方は9月31日までに会費の納入をお願いします。

【年会費】

個人	個人会員	1口 2,000円
	家族会員 (個人会員と同居の家族)	1口 1,500円
	ユース会員 (加入又は更新時に満22歳以下)	1口 1,500円
	賛助会員 (団体 企業等)	1口 10,000円
	特別会員 (企業等)	3年に渡る30万円以上の寄付または1回100万円以上の寄付

【特典について】

- ※友の会に加入された方には、以下の特典を提供させていただきます。
- 友の会会員バッチ進呈、各種資料送付(初回加入時のみ)
- 財団機関誌：郵送にてお配りします
- 宿泊割引：尾瀬戸倉、檜枝岐村周辺宿泊割引(休日、祝祭日前等の除外日があります。)
- 尾瀬周辺施設利用料割引：対象施設等の詳細は財団ホームページでご確認ください。

<https://www.oze-fnd.or.jp>

●●● 編集後記 ●●●

新しく担当となりました宇野と申します。平成29年は、「尾瀬国立公園10周年」・「第4次尾瀬総合学術調査」など新しい話題の多い1年となりそうです。この機会に、多くの方に尾瀬に足を運んでいただき、尾瀬の大切さ・魅力を感じていただけたら嬉しく思います。この機関誌でも、尾瀬の自然情報だけでなく、尾瀬で話題となっていることなど、幅広い情報をお届けできるように内容を考えていきたいと思っています。(宇野)



(公財)尾瀬保護財団
スマートフォンサイト
情報配信中

緊急情報
お知らせ
ライブ映像
など

尾瀬の情報を随時発信します

ツイッター
尾瀬情報配信中

